

マレーシアにおける規格の認証体制の整備等に係る調査報告

2022年3月10日

第6回 コールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004)に関する普及検討委員会

調査報告

- ①マレーシアの認証体制の整備に関する調査について
- ②JSA-S1004の相互承認のあり方に関する調査について

調査報告

- ①マレーシアの認証体制の整備に関する調査について
- ②JSA-S1004の相互承認のあり方に関する調査について

調査① マレーシアの認証体制の整備に関する調査について

JSA-S1004を認証することが可能であると思われる現地認証機関

- 第5回委員会では、マレーシア標準局より認定を受けている54の認証機関(2021年11月時点)のうち、品質マネジメント・環境マネジメント・食品安全マネジメントなど食品物流にかかる規格(ISO、HACCP、FSSC認証等)を認証している35機関をリストアップした。
- JSA-S1004は食品を対象としたコールドチェーン物流サービス規格である。物流事業者が認証を取得するためには、文書化した手順書(マニュアル)を整備し、組織としてPDCAサイクルを回し継続的に改善を行うことが要求される。その為、JSA-S1004を認証することができるのは、食品物流に係る規格認証及び品質マネジメントシステム認証審査を行うことが可能な認証機関であると考えられる。また、認定機関であるマレーシア標準局から認定を受けており、運輸省が推薦する認証機関は、審査能力が高いと考えられる。
- 上記の観点から、リストアップした35機関の中で、特にJSA-S1004を認証できる有力な現地認証機関(グローバル認証機関は除く)として下記を主な指針として評価を実施した。

評価指針

- ✓ マレーシア標準局より品質マネジメントシステム認証の認定を受けている ←**マネジメント認証審査ができる**
- ✓ マレーシア標準局より食品に係る物流関連の規格の認定を受けている ←**食品関連の認証審査ができる**
- ✓ マレーシア運輸省から有力な認証機関だとの推薦がある ←**運輸省からのお墨付き有**
- ✓ 提供可能な食品に係る物流関連の認証※サービスの種類 ←**豊富な認証メニュー**
- ✓ 国内事務所数 ←**幅広い認証サービスネットワーク**

※食品に係る物流関連の認証とは、環境マネジメントシステム、食品安全マネジメントシステム、道路交通マネジメントシステム及びHACCP認証、FSSC認証、GMP等が挙げられる

調査結果：JSA-S1004を認証することが可能であると思われる現地認証機関

認証機関名	マレーシア標準局に認定を受けている分野			運輸省による推薦	提供している認証サービス		認証サービスを提供する事務所数
	ACB No	分野	合計		食品に係る物流関連の認証の種類	合計	国内
SIRIM QAS International Sdn. Bhd.	QMS CB 0001	品質マネジメントシステム (QMS)	5	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	7	1
	ACB FSMS 0001	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
	EMS CB 0002	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
	ACB HACCP 0003	HACCP Systems			MS 1480 (HACCP)		
	ACB GMP 0004	食品の為の適正製造規範(GMP)			MS 1514 : 食品の為の適正製造規範		
					ISO 39001 : 道路交通安全マネジメントシステム		
					ISO 28000 : サプライチェーンマネジメントシステム		
Synergy Certification Sdn. Bhd.	QMS CB 0020	品質マネジメントシステム (QMS)	5	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	5	2
	ACB FSMS 0012	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
	EMS CB 0019	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
	HACCP CB 0006	HACCP Systems			MS 1480(HACCP)		
	GMP CB 0005	食品の為の適正製造規範(GMP)			MS 1514 : 食品の為の適正製造規範		
KGS Certification Sdn. Bhd.	ACB QMS 0015	品質マネジメントシステム (QMS)	5		ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	6	1
	ACB FSMS 0006	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
	ACB EMS 0012	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
	ACB HACCP 0004	HACCP Systems			MS 1480(HACCP)		
	ACB GMP 0003	食品の為の適正製造規範(GMP)			MS 1514 : 食品の為の適正製造規範		
					FSSC 22000 : 食品安全システム認証		
NIOSSH Certification Sdn. Bhd.	QMS CB 0017	品質マネジメントシステム (QMS)	3	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	5	2
	FSMS CB 0007	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
	EMS CB 0010	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
					ISO 39001 : 道路交通安全マネジメントシステム		
MY CO2 Certification Sdn. Bhd.	QMS CB 0026	品質マネジメントシステム (QMS)	3	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	3	1
	ACB FSMS 0009	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
	ACB HACCP 0007	HACCP Systems			MS 1480 (HACCP)		
Pearl Certification Sdn. Bhd.	ACB QMS 0029	品質マネジメントシステム (QMS)	2	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	5	1
	ACB FSMS 0011	食品安全マネジメントシステム(FSMS)			ISO 22000 : 食品安全マネジメントシステム		
					ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
AJA EQS Certification (M) Sdn. Bhd.	ACB QMS 0008	品質マネジメントシステム (QMS)	2	●	HACCP	3	1
	ACB EMS 0006	環境マネジメントシステム (EMS)			適正製造規範(GMP)		
					ISO 9001 : 品質マネジメントシステム		
CARE Certification International (M) Sdn. Bhd.	QMS CB 0013	品質マネジメントシステム (QMS)	2	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	2	1
	EMS CB 0009	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
Prima Cert International Sdn. Bhd.	QMS CB 0023	品質マネジメントシステム (QMS)	2	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	2	1
	EMS CB 0015	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		
GH Certification Sdn. Bhd.	QMS CB 0021	品質マネジメントシステム (QMS)	2	●	ISO 9001 : 品質マネジメントシステム	2	1
	EMS CB 0018	環境マネジメントシステム (EMS)			ISO 14001 : 環境マネジメントシステム		

マレーシア標準局・各社HP、マレーシア標準局へのアンケート及びマレーシア運輸省へのヒアリング調査よりNK作成

調査報告

①マレーシアの認証体制の整備に関する調査について

②JSA-S1004の相互承認のあり方に関する調査について

調査② JSA-S1004の相互承認のあり方に関する調査について

相互承認を行う場合の課題

- ① 相互承認する規格の要求事項が大幅に異なる場合は、相互承認スキームが成り立たない。
- ② 相互承認を実施する認証機関の審査方法が異なる場合は、認証の品質の同等性が担保できない。
- ③ 審査力量が異なる場合は審査の同一性が担保できない。

相互承認の必要条件

1

相互承認する規格の要求
事項が同一であること

JSA-S1004と国家規格の
要求事項が同一

2

認証審査の方法が同等
であること

JSA-S1004認証審査ガイ
ドラインに基づいていること

3

認証機関の審査力量
が同等であること

認証マニュアル及び担当審査員の
審査能力などが認証機関の間で同
等であること

審査力量の同等性の判断材料について

IAF(International Accreditation Forum ,Inc. 国際認定フォーラム)加盟の認定機関(マレーシアにおいては、マレーシア標準局のみ)が、認証機関を認定する際に、**認証マニュアルの内容及び審査員の審査能力などについて一定の水準であることを求め、認定後もその水準を維持しているか定期的に点検する。**このため、認証機関における実務においては、**IAF加盟の認定機関から認定を受けている認証機関同士は審査力量の同等であるとされる。**

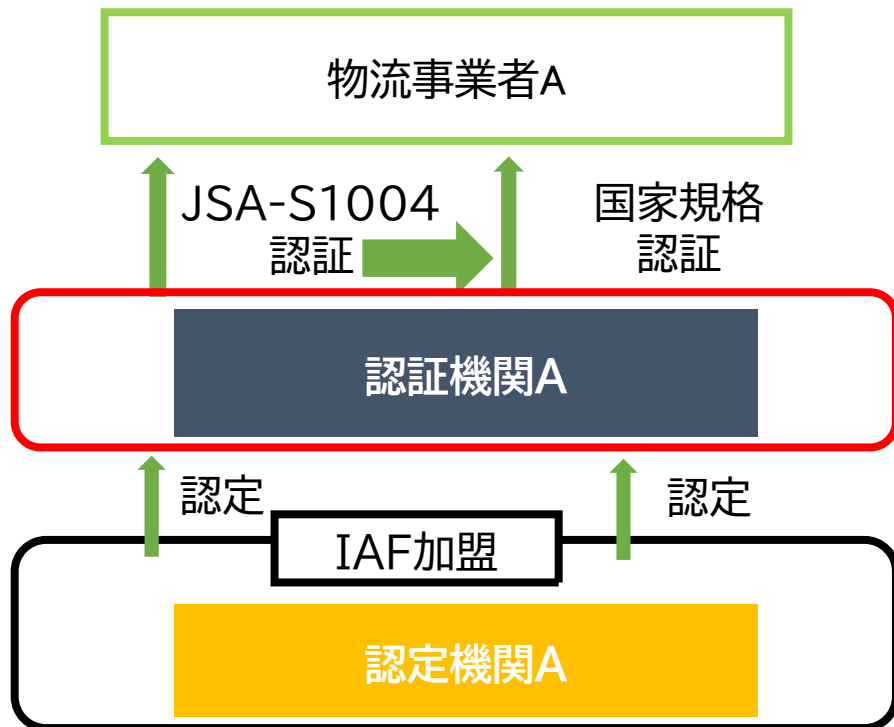
調査② JSA-S1004の相互承認のあり方に関する調査について

相互承認が可能なケース

CASE 1

- ・JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一
- ・JSA-S1004及び国家規格をJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づき審査
- ・JSA-S1004を認証した認証機関と国家規格を認証する**認証機関が同一**

- ✓相互承認する規格の要求事項の内容(保管、輸送における温度管理に関する部分)が同一である
- ✓両規格ともJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づくことから審査方法が同等である
- ✓同一の認証機関の為、認証機関の審査力量が同等である



個別審査なしで認証取得

マレーシア標準局

JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一であることをマレーシア運輸省が担保することが大前提

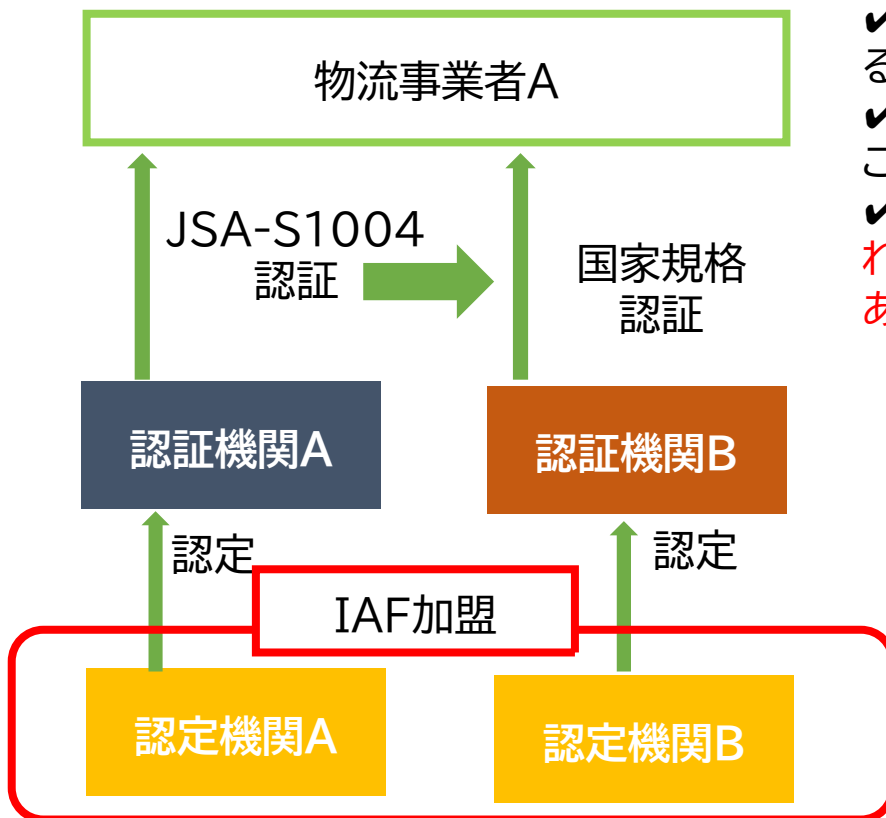
マレーシア運輸省

JSA-S1004をベースに国家規格を策定予定

相互承認の可能性のあるケース

CASE 2

- ・JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一
- ・JSA-S1004及び国家規格をJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づき審査
- ・IAF加盟の認定機関から認定を受けている認証機関ではあるが、JSA-S1004を認証した認証機関と国家規格を認証する**認証機関が異なる**



- ✓相互承認する規格の要求事項の内容(保管、輸送における温度管理に関する部分)が同一である
- ✓両規格ともJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づくことから審査方法が同等である
- ✓両認証機関ともIAF加盟の認定機関より認定された認証機関であることから、審査力量が同等であるとみなすことが可

認証機関Bが認証機関Aの審査がJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づいていることを確認した場合、個別審査なしで認証取得できる可能性が高い

マレーシア標準局

JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一であることをマレーシア運輸省が担保することが大前提

マレーシア運輸省

JSA-S1004をベースに国家規格を策定予定

なお、認証機関AがIAF加盟の認定機関からの認定を受けていない場合は、基本的には相互承認は困難となるため、認証機関Bは個別に審査を行うこととなる。